

平成18年度 第6回 こどもエコクラブ

2月3日(土)のこどもエコクラブはカニ山キャンプ場で「簡易炭焼きと木工作」

まずは、かまど作りから。大小様々な木を集めてきて、ナタやノコギリを使って長さを揃えます。次に、それぞれ持ってきた松ぼっくりや椿の葉っぱなどを茶筒やお菓子の缶に入れ、かまどの中へ。あとは待つだけなので、ここでお昼。休憩時間に、ロープを木に結んでブランコを作ったり、崖登りをしたりと、都会ではできない遊びを満喫しました。

さて、いよいよ炭を取り出してみます。そっと蓋を開けると...どれもきれいに元の形を残したまま、まるでモノクロの世界に飛び込んでしまったよう。大成功です。



最後は木工作。竹笛とシュロバッタ作りです。竹笛は穴の大きさや開ける場所で音の高さが変わることを実体験。シュロの葉で作るバッタは細かい作業でしたが、みんな真剣に作り方を習い、出来上がりはホンモノのバッタのようでした。



この日で今年度のこどもエコクラブは終了ですが、平成19年度の会員を市報で募集をします。是非ご参加ください

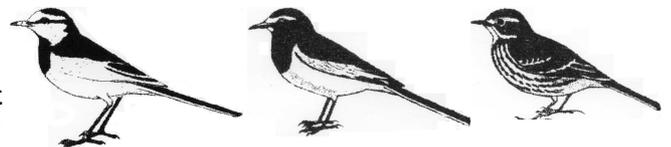
調布の自然

鳥編 セキレイの仲間

前回の「野川の迷子：カイツブリ」は無事仲間の下に戻れたのでしょうか。一部の方から「コガモ」と混同された話がありましたので、今回は身近なトリをじっくり観察することで識別力アップを！

調布の街中で見られる鳥にセキレイの仲間がいます。民家の屋根のへりに舞い降りると、長い尾を上下に振り振り忙しく歩き回り、留まったと思ったら次は近くにあるマンションのベランダに移り、同様な動作のあと、またチュンチュンと鳴きながら波乗りをするかのようにどこか遠くに飛び去っていく鳥。

「1960年代」東京オリンピックの頃、高校生であった自分の狭い勉強部屋の出窓に隣家の屋根からセキレイがよく飛んできたので、餌のつもりでご飯粒を置いた記憶のある鳥がこれーガラス窓越しに肉眼で間近に見る鳥は胸から腹の黄色と後頭部から背中にかけての青灰色のコントラストがとても美しく輝いていました。



市内で見られるセキレイの仲間は普通4種類。次の簡単な識別ポイントを参考に双眼鏡を覗いたら、あなたはもう立派なナチュラルリストです。

キセキレイ お腹の黄色が目立つ

ハクセキレイ 頭頂部と過眼線(眼の横)は黒い・背と尾は灰黒色

セグロセキレイ 頭から背中が黒い・顔から顔は白い(日本にしか生息しない固有の鳥)

タヒバリ 頭部から背中にかけてオリーブ褐色で下面は白く褐色の縦斑

4種の共通点 尾を上下に振り振り波状に飛び水辺を好む。(里)

カニ山の会 雑木林塾生を迎えて

2/10(土) 9:30~12:00

参加者 9名 + 雑木林塾生 12名



雑木林塾生とのコラボ作業。
 小池先生を講師に迎え、野草園前から高速道路西側の広場にかけて見学。元は谷戸だった所に残土を入れた等のお話を伺いながら斜面のようすやケンボナシの大木など見学。塾生のみでなく、カニ山の会のメンバーもヤマザクラとくっついているイヌザクラ、農場脇に湧き水が流れ落ちてしまう穴、など色々再認識。

カニ山のメンバーが鎌の使い方を教授しながら皆で笹刈り。前回刈ったところにはまたマンリョウが沢山増えていました。4月には何が出てくるか楽しみ。



久しぶりにクヌギの伐採を体験。「枯れ木も鳥や昆虫の棲家として価値があるので、倒すばかりが良いとは限らない」の説明も聞きました。

最後はもちろん、しっかり鎌とぎ。
 塾生の方々には午後は小池講師による講義がありました。



環境モニター

2/3(土) 10:00~16:00
 たづくり301にて
 参加者6名とスタッフ

小澤講師と共に多摩川の植物図鑑の最終校正。前回、宿題になっていた植物の説明文の追加と個々の文章について見直し。時間が足りないため校正を中断し、最終校正は数人のメンバーに一任し、来年度の活動計画について話し合った。来年度も引き続き市内の水辺(多摩川・野川・佐須用水)の植物調べ。「そぞろ歩き」の場所は未定だが春と秋の2回行う。

人間・樹林の会

2月18日、雨のため作業は中止し、現地で散策路のコース変更と伐採される木について職員から説

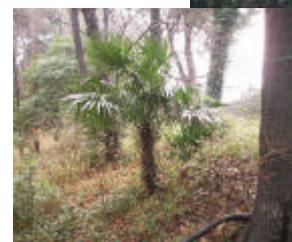
明をうけ確認しました。隣地との境界が明確になったため、散策路の入り口がシラカシの木の下方からになります。エノキ(樹高16m、幹周171cm)とシュロも各1本伐採される予定です。落葉樹で幹周が大きいエノキを伐採するのは残念ですが、民有地にあるため仕方ありません。平面設計図をみながら入り口広場や階段部分等も確認をしました。

西側樹林地では業者に伐採を依頼する木を決定しました。枯死した杉の木1本、倒木1本、斜面の密集したシュロ5本を確認し優先順位をきめました。

ツバキの森では頭上には紅いつばきが咲いていました。光が射さず密生しているため木の幹

は細くなっています。間引きが必要かもしれません。他には、アオキの実が赤く色づいてきて殺風景な樹林地に彩りを添えていました。(安部)

駐車場側からみた伐採予定のエノキ



伐採予定のシュロとその奥にはキツタがからまるエノキがみえる。散策路の入り口。

水のお話 田んぼの学校

番外編 6

数年に一度起きるエルニーニョ現象のような地球規模の天候の変動があることも知られていました。冷夏の夏、稲では開花が遅れ、実入りが悪くなり凶作の兆しとなったそうです。反対に猛暑の夏は、近年の地球温暖化の影響もあって、水不足や台風、暴風雨などが顕著化しています。温暖化に伴い田んぼに住む生き物や生態系の変化も予測、報告されています。調布の「田んぼの学校」では毎年生き物調査をおこなっていますが今のところ新種の発見はありません。ただしここ数年、水路にまったく水が無い日が続くようになりました。ちなみに今年も暑くなりそうで、水不足が心配です。農水省では、温暖化に対応した新しい作物の品種改良に取り組んでいるとのこと。IPCC（国連：気候変動に関する政府間パネル）によれば、地球の平均気温は2100年に1.4～5.8度上昇すると報告されています。

・田畑や森林は、二酸化炭素を固定して酸素を放出し、蒸散作用で水を循環させ、夏はクーラー代わりになってくれます。この環境をなくさないために、これからも十分な水源を確保し、農家へ市民の声を伝え、支援していくことが、私たちや行政に改めて必要な課題だと思いました。
(田んぼの学校 こんどう)



水が無ければ田植えはできない

夕焼けの羊雲。明日は晴れ模様、この時期は富士山も良く見える

地球環境と深く関わる水と農業

・農家の畑仕事は、季節によって決まっております。また作物の収穫量も当然、天候に左右されます。例えば、代掻きや田植えなどは、水田に十分に水がいきわたらなければできない作業です。関東中部ではおよそ5月の連休頃から6月初旬に田植えがおこなわれますが、事前に種籾まきなどの準備が必要です。多くの農家が毎日空にとらめっこし、天気予報に注意しながら、作業の段取りをつけます。田植えする苗は五葉目の葉が出て長さが20cm程度に育った頃がよいのですが、タイミングが合わないと田植えが遅れたり、葉先を短く切りそろえて根つきをよくしたりせねばなりません。

・今のような天気予報が無かったころ、農家などは観天望気（かんてんぼうぎ）や生き物の習性を観察して天気を予測することが必要でした。それらは、夕焼けの翌日は晴れ、ツバメが低く飛ぶと雨、アマガエルが鳴くと雨など多くの言葉となって、地域ごとに伝えられています。暖冬の翌年は冷夏とよく言われますが、

ちょうふ環境市民懇談会・運営会議 2/13(火)

【報告事項】

- 1.平成19年度の環境フェア
 - ・開催日時は6月2日(土)の10:00～15:00。出展中心で行う
- 2.樹木の伐採について
 - ・樹木の伐採や粗大ごみの撤去など、市民の手ではできない部分を補うための予算があるので要望があれば対応する。今月中に連絡をして欲しい。
- 3.雑木林連絡会のようす
- 4.NTT研修所周辺崖線樹林での観察会について
 - ・4/28(土)予定。講師派遣を要請し、実際に保全活動に関わっているような人たち限定で行いたい。主催は環境市民懇談会。

5.豊かな緑・水・景観を守り育てるための取組検討会について

【協議事項】

雑木林市民交流会と全体会・全体会資料について詳細話し合い。市民懇談会のこれまでの活動のまとめを資料作成しているので何がなされてきたかを確認しあった。

雑木林連絡会 1/29(月)

- ?凸凹広場11月末のイベント「森の展览会」そのときの様子を「あくろす」の市民活動助成金を使って、カラーコピーにまとめたものを回覧。楽しい様子が伝わった。
- ?若葉町3丁目第3緑地は雑木林塾生と笹刈りをして、さっぱりした。手が多いと作業がすすむ。
- ?入間樹林と若葉町3丁目第3緑地は「国分寺崖線重点整備事業」

の中で散策路コース変更になる。
?国分寺崖線緑地観察会を懇談会主催で行いたい。

?来年度も「雑木林連絡会」を年2回程度開催したい。

豊かな緑・水・景観を守り育てるための取組検討会 1/15(月)

モデル事業の提言を取りまとめ3月市長に報告書を提出する予定。この報告書と本年度の現況調査の結果を受けて、調布市は平成19年度中に深大寺・佐須地域の環境資源活用事業の基本構想を策定していくこととしている。

市民活動カレンダー & おしらせ

全ての会でメンバー随時募集中！

環境モニター

3/3(土) 10:00~12:00

集合場所：青渭神社

内容：水生植物園・深大寺城跡周辺植物調べ

持ち物：図鑑・筆記用具等

市内の自然環境調べや「調布そぞろ歩き」のガイドを行っているグループです。

問合せ：環境保全課 042-481-7086

カニ山の会

3/10(土) 10:00~12:00

集合場所：深大寺自然広場、野草園横

内容：伐採樹木や笹の処理とお茶会

原則毎月第2土曜に東樹林の保全活動を行っています。参加希望の方は直接集合場所へおいで下さい。

(年会費500円+保険料)

問合せ：環境保全課 042-481-7086

若葉町3丁目第3緑地-保全活動

3/11(日) 10:00~12:00

集合場所：入間地域福祉センター

内容：保全活動

原則毎月第2日曜に活動しています。

問合せ：緑と公園課 042-481-7083

入間・樹林の会

3/18(日) 9:30~12:00

内容：方形枠修理と落ち葉かき

集合場所：入間地域福祉センター

原則毎月第3日曜に活動しています。

問合せ：環境保全課 042-481-7086

編集後記

元米副大統領アルバート・ゴアさん出演の映画「不都合な真実」を見に行った。劇場の人出からして関心は高いと思われるのにCO₂は増えるばかり…。しかも決定的解決策は提示されない。一人一人の省エネと自然を守る意識かな。(N)

野川流域連絡会

1/21(日)生き物分科会主催の野川公園「湧き水広場」の湧水を引いてつくった「ほたる川」の修復作業に参加。観察会では調布地区の野川では見つからないきれいな水に棲むホトケドジョウやマシジミがいて、違いを感じました。



(身近な川を見守る会：江刺) 野川の砂利と粗朶を使って補修完了！

3/4(日) 雑木林市民交流会
と環境市民懇談会 全体会

たづくり8F映像シアター / 10F1002 学習室

10:00~ 講演「危険な生き物とのつきあい方」

(映像シアター) 講師 倉持武彦氏

11:00~ ---1002 学習室に移動---

11:10 交流会 活動団体の紹介・PR

- ・市内の雑木林で活動している市民グループ
- ・ちょうふ環境市民懇談会

12:00~ 休憩 (軽食)

13:00~ 交流会 雑木林塾ふりかえり

- ・本年度受講生の体験発表
- ・過去の受講者による体験談

14:30~ ちょうふ環境市民懇談会・全体会

- ・18年度活動紹介と 関連活動団体の紹介・PR
- ・19年度活動方針と次期運営委員の選出

15:00 終了

なお、軽食実費負担として当日お一人500円を徴収させていただきます。

会議日程

ちょうふ環境市民懇談会・運営会議

3/12(月) 18:30~20:30

たづくり 301 会議室

内容：新運営委員と共に次年度の環境市民懇談会についてこの運営会議にはどなたでも参加できます。資料準備のため事前に調布市環境保全課にご連絡下さい。

「ちょうふ環境市民懇談会」は、調布の自然環境を市民・行政・事業者の協働で保全・改善・回復していくために設立されました。2001年から保全活動の交流・支援、人材育成、情報収集・発信、提言などの活動をしています。ぜひご参加ください。

ちょうふ環境市民懇談会

連絡先:調布市環境保全課 tel 042-481-7086

E-mail: kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp

~調布市ホームページでカラー版がごらんいただけます~

市公式HP [くらしのガイド](#) 環境 環境学習 自然だより